

＜ あなたの治療について ＞  
消・外-Durvalumab-胆道-q4w

今回の治療は、Durvalumab という治療法で、イミフィンジ（IMF）という注射薬で治療を行います。腫瘍の増殖を抑えるお薬です。

◎ 治療全体の流れ

今回の化学療法は4週間が1コースとなっています。各コースの1日目に点滴を行います。この治療を4週間（28日間）ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

◎ 1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~28日目
①	イミフィンジ (抗がん剤) 1500mg/body	点滴 約60分		お休み

★ 点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

◎特徴的な副作用について

イミフィンジにおける

\*免疫チェックポイント阻害剤における副作用は、別添の資料を参照して下さい。

◎薬品毎の副作用について(添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋)  
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。

【イミフィンジ】

[間質性肺疾患(放射線肺臓炎を含む)]咳、息切れ、息苦しい、発熱

[大腸炎、重度の下痢]発熱、お腹が張る、下腹部の痛み、水のような便が出る、便に血が混じる(鮮紅色~暗赤色)、体がだるい

[甲状腺機能障害]疲れやすい、まぶたが腫れぼったい、寒がり、体重増加、いつも眠たい、便秘、かすれ声、脱毛、動悸(どうき)、脈が速くなる、手指のふるえ、体重減少、汗をかきやすい、イライラする、微熱

[副腎機能障害]体がだるい、意識の低下、意識の消失、嘔吐(おうと)、食欲不振、発熱、冷汗が出る、顔面蒼白(そうはく)、手足が冷たくなる

[下垂体機能障害]体がだるい、疲れやすい、食欲不振、意識の低下、血圧低下、性欲がでない、無月経、喉が渇く、体重が減る、皮膚の乾燥、水を多く飲む、尿量が増える

[1型糖尿病]体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える、吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸

[肝機能障害、肝炎]疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振、嘔吐、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる

[腎障害]尿量が減る、むくみ、体がだるい、発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる

[筋炎、横紋筋融解症]筋力の低下、筋肉の痛み・はれ・熱感、手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、尿が赤褐色になる

[心筋炎]体がだるい、発熱、息苦しい、息切れ、動悸、胸の痛み、むくみ

[重症筋無力症]まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感

[免疫性血小板減少性紫斑病]鼻血、あおざがができる、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい

[インフルエンザリアクション]呼吸困難、意識の低下、意識の消失、まぶた・唇・舌のはれ、発熱、寒気、嘔吐、咳、めまい、動悸(どうき)

◎上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。